

科目番号	50	科目名	環境の科学	
英 文 科 目 名	Environmental Science			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連 絡 先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担 当 教 員	奥田 哲士 ( 先端理工 学部 教授 )			
実 施 方 法	対面授業		遠隔授業 対面・遠隔併用	
教 室 名			会場	
授 業 期 間	2022 年 9 月 26 日 ( 月 ) ~ 2023 年 1 月 16 日 ( 月 ) <毎週 月 曜日> 2 時限・講時 11 : 00 ~ 12 : 30			
超過時の選考方法	書類選考			
成 績 評 価 方 法	小テスト		70 (ほぼ毎回行う)	%
	レポート		30 (数回行う)	%
別 途 負 担 費 用	なし		あり( )円	
そ の 他 特 記 事 項	レポートと小テストの比率は変更する場合がある。 毎回、約6点分程度の小テストやレポートを課すことで、数回の欠席では大幅な減点はされないように配慮しているため、各種の別の実習などの公欠であっても基本的には補習や追試は行わない(他の回をしっかりと勉強し、欠席会を補える評価を得ること)。			
<b>&lt;講義概要・到達目標&gt;</b>				
<p>■【講義概要】</p> <p>環境問題は、鉱毒事件のような公害問題に始まり、ダイオキシンなどの微量汚染物質問題、地球温暖化などの生活様式やエネルギー利用を根本的に考え直さなければならないような環境問題へと移り変わっている。本講義では、指定テキストを通じて、さまざまな環境問題の概要や原因・本質、実態、対応や取り組みについての基礎知識を深めることに加え、各自が今後どのようにすべきか(ソリューション)について考えることにチャレンジする。</p>				
<p>■【到達目標】</p> <p>さまざまな環境問題とその対策法の基礎知識を網羅的に身につける事ができ、新たな環境問題の解決法の立案についての基礎を確立できる。</p>				
<p>■【講義方法】</p> <p>対面を基本とするが、場合によっては一部をオンラインでの受講や質問(主に講義時間中とオフィスアワー時に、オンラインでも可能)あるいはそれらを利用(併用)した対面講義とする。 毎回、教科書を毎回10-20ページ予習してもらった上で、最新の情報等を配布資料(PDF)、スライド、動画などで補足する(場合によっては音声説明付きの動画なども利用)。</p>				
<p>■【授業時間外における予・復習等の指示】</p> <p>テキスト(教科書)の予習を徹底した聴講に期待する。</p>				
<p>■【履修上の注意】</p> <p>初回にmanaba利用の注意点(追試を行わない事やカンニング扱い事項等)詳しく説明するので、初回、参加できない場合は初回以降、早急に担当教員に直接相談する事。 急、あるいは直前の変更・連絡はmanabaのニュースを予定している。</p>				

＜授業スケジュール＞		
回	月日	テーマ・キーワード
1	9月26日	ガイダンス(manaba等オンライン教材の説明と実習含む)、学修内容の概要、環境問題とは
2	10月3日	環境問題の基本□
3	10月10日	大気・水の循環とエネルギー□
4	10月17日	各種物質の循環□
5	10月24日	マテリアルフロー等
6	10月31日	各種環境指標・リスク等
7	11月7日	温暖化の現状
8	11月14日	温暖化の今後や対策技術等
9	11月21日	大気環境
10	11月28日	水環境・土壌環境
11	12月5日	森林と砂漠化等
12	12月12日	生物多様性等
13	12月19日	都市化の問題(場合によってはワークショップ)
14	12月26日	ライフスタイル等(場合によってはワークショップ)
15	1月16日	ソリューション法等(場合によってはワークショップ)、確認小テスト
<b>＜教科書・参考書＞</b> <b>■【テキスト】</b> テキスト(教科書)の購入が必要である。2回目講義までに、必ず最新の版を入手する事。 西岡秀三ほか『改訂新版 地球環境がわかる』(技術評論社) 1,880円 (ISBN:9784774171814)  <b>■【参考文献】</b> 石川宗孝 編著/ 竺文彦 他著『環境読本—環境をいかに学び、いかに対処するか』(電気書院) 2,700円 (ISBN:9784485220160)		